

年	児童の実態	授業改善の視点とその方策	2月検証
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱、器楽ともに前向きに取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の授業を楽しむという雰囲気大切に、さらに元気よく、歌ったり、楽器を奏でたりできるように指導していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業規律も確立でき、授業への前向きさがさらに増してきた。歌声も大きくなってきた。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱、器楽ともに積極的に取り組んでいる。一部落ち着きのない児童も見られるが、概ね前向きな授業態度である。</li> <li>リズムにのって楽しく体を動かしたり、楽器を演奏することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりのよさを生かしながら、みんなで合わせて歌ったり演奏したりするという活動を大切にしていく。</li> <li>授業規律を確立しつつ、音楽を楽しむ雰囲気も大事にしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度がとても良くなり、集中力が増した。歌声も大きくなり、一生懸命歌えるようになった。リズム感も少しずつ良くなってきた。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱、器楽ともに意欲的に取り組んでいる。たいへん元気良く歌える。</li> <li>リコーダーの導入に伴い、一つの音を全員が正しく吹けるまで基礎練習、反復練習などを取り入れている。子どもたちは大変意欲的に取り組んでいる。一部、運指が苦手な児童も見られるが、真面目に努力している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師や友だちの歌声や音を聴きながら、さらに良い響きで歌えるように指導する。</li> <li>リコーダーでは正しい奏法を身につけられるように丁寧に時間をかけて指導する。また少ない音数でも楽しく演奏できる曲を選曲して指導していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>頭声発声を身につけられてきたので、美しい響きで歌えるようになった。</li> <li>リコーダーにも前向きに取り組んでいる。運指が苦手な児童も努力の成果が見られ上達した。</li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱、器楽ともに意欲的に取り組んでいる。授業規律もしっかり確立していて、学習内容をきちんと身に付けることができている。</li> <li>リコーダーのレパートリーも増え、簡単な合奏などもできるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらに表情や口の開け方を良くさせて、元気にのびのびと歌えるように指導していく。</li> <li>リコーダーなどは多くの教材にふれさせて、さらにレパートリーを増やせるように努力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱は口の開け方に課題の残る児童もいるが、前向きに努力する姿が見られた。</li> <li>リズム練習や発声練習などには積極的に取り組んだので、今後は器楽への取り組みにも力を入れたい。</li> </ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱、器楽ともに意欲的に取り組んでいる。音量や発音も美しく、音感も良い。リコーダーの技術を高いものにするのが課題である。</li> <li>鑑賞においても意欲的に取り組み、どの児童もいろいろな楽器について感想を述べるができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらにレベルの高い教材を導入することにより、声域を広げ声質をそろえていく。また、鑑賞面においても音楽的な観点や視野をさらに広げさせたい。</li> <li>さまざまな楽器を使い、リズムや音色を楽しめるような楽曲を選曲していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽器の演奏技術や発声技術は非常に高い。どの児童も前向きな授業態度である。まだまだ余力があるのでさらに発展的な課題を与えていきたい。</li> <li>鑑賞に対してはさらに関心が深まった。</li> </ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱、器楽ともに意欲的に取り組んでいる。歌唱においては、美しい響きで歌えているのもう少し音量が出るとよい。</li> <li>器楽合奏ではさまざまな楽器を用いて意欲的に演奏している。リズム練習や読譜にはやや不慣れである。少しずつ基礎を身に付けさせたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸や発声の基礎基本を指導しさらに良い響きを付けて歌えるように指導する。</li> <li>個別指導の時間を多く取り、個人の苦手な事を手助けしていく。またリズムや音楽記号などをカードにして毎時間の授業で繰り返し指導をしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>器楽合奏における基礎的なリズム感や譜読みのレベルがとても上がったと思われる。合唱においても一人一人がしっかりと声を出せて音量も増した。</li> <li>リズムカードにとっても関心を持って取り組んだ。</li> </ul>